

# 令和4年度 事業報告書（敬愛園）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

## I 総括

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症が依然として猛威を振るう中、イベント等の制限を徐々に解除しながら、サービスの提供を継続することができました。また、感染症に関する補助金を活用し、介護ロボット及びオンライン面会に関するタブレットの購入などを行いました。その他の活動については、各施設の状況により臨機応変な対応を行いました。

アットホーム博多の森では、二度の大規模クラスターの発生により、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらの運営となった結果、特養・ショートステイ共に稼働率回復に至らず、2年連続で稼働目標を達成することができませんでした。サービスの質の向上を図るために、入居者の自立支援・重度化防止の取り組みを行いました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、91.7%（前年比0.1%減）。デイサービスの稼働率は、49.9%（前年比1.7%増）。居宅介護支援事業所の請求件数は、年間407件となりました。

アットホーム諸岡では、コロナ禍であっても安定した運営を行うため、付加価値のあるケア（科学的介護・誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト・ノーリフト）を推進し、介護の質の向上に努めました。

地域貢献活動において感染リスクが少ない活動については、感染対策を十分に行った上で少しずつ再開しました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は96.1%（前年比0.1%増）、デイサービスの稼働率は、86.9%（前年比2.0%増）となりました。

アットホーム福岡では、サービスの質の向上を図るために、認知症対策・誤嚥性肺炎プロジェクト・業務の効率化について、施設全体で他職種協働に取り組みました。この取り組みは、介護報酬の新たな加算（LIFE）に繋がっているため、加算取得のための書類整備や役割分担の仕組み作りにも良い成果が得られました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、95.9%（前年比0.3%増）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、94.5%（前年比1.6%減）。ケアセンター県庁口の請求件数は、年間1,042件（前年比24件増）。けいあい保育園の稼働率は、83.8%（前年同一）となりました。

ケアスタ福岡では、コロナ禍であっても適正な施設運営のため、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を重要課題とし、これまでの課題解決も合わせて職員全体で取り組みました。サービス付き高齢者向け住宅については空室により稼働を落としています。グループホームの稼働率は、85.1%（前年比2.1%減）。千代パピヨンデイサービスセンターの稼働率は、66.0%（前年比0.1%減）。小規模多機能型居宅介護の稼働率は、94.3%（前年比1.7%増）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、85.6%（前年比8.6%減）となりました。

福岡介護福祉専門学校では、コロナ禍においても本校の特徴でもある「介護現場との連動型教育」に取り組むことができ、優秀な介護人材の育成に繋げました。オープンキャンパス等による学生募集により令和5年度の入学予定者は28名となりました。また、留学生の増加による奨学金ニアーズに対応する奨学会についても順調に取り組めています。

照葉けいあい保育園では、開設1年目でありながらも4月から園児を113名受け入れることができました。保育方針であるアクティブラーニングが浸透するように、保育士と検討を重ね、園児たちが自立してのびのびと過ごす環境づくりに取り組みました。

令和5年4月新規開設の照葉けいあいホームについては、入居者及び職員の確保に苦戦を強いられていますが、事業が早く軌道に乗るよう積極的に営業活動に取り組みました。

法人全体の事業活動によるサービス活動収益は、23億5,229万円（前年比21,305万円増）。人件費は、14億6,901万円（前年比13,413万円増）。経費は、6億3,801万円（前年比4,403万円増）となりました。事業の収益性を表す経常増減差額は、10,145万円（前年比5,093万円増）。法人の収益性を分析する指標である経常増減差額比率は、4.3%（前年比2.0%増）となりました。

## II 各事業所の運営状況

### 法人本部・在宅支援課

#### 1. 経営基盤の確立及び施設整備

法人の適正な事業運営のため、各拠点の会計責任者（施設長）が出席する定例会を週一で開催しました。定例会では、施設運営・収支状況に関する情報を共有し、適正な予算執行に努めました。在宅支援課では、各サービス部門（グループホーム、小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援事業所）の強化を図りました。

#### 2. 人材の確保・育成及び待遇改善

適正人員プロジェクトにより、適正な人員配置を原則とし、業務の効率性及び職員の意識改革を図りながら、派遣職員の活用を控える等、人件費の調整を行いました。

新卒職員を確保するため、ホームページの求人案内・ブログ等のコンテンツを充実させました。また、介護福祉士養成校との連携、職員寮の案内、奨学金制度や介護実習の受け入れから、新卒者を採用しました。

将来の生産年齢人口の減少を見据えた対応として、業務の切り出しを進め、障がい者雇用や地域の元気な高齢者の雇用による裾野の拡大を図りました。

#### 3. 福利厚生の充実

職員互助会については、令和4年度も引き続き新型コロナウイルスの影響により、忘年会・ボウリング大会など人が集まるイベントは中止としましたが、イベントの予算を活用して、各施設での慰労会の実施、永年勤続表彰や会員への宅飲みセットの配付を年2回行いました。

職員の心理的な負担を把握するため、労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを行いました。衛生委員会と協力して職員のメンタルヘルス（精神面における健康）に努めました。

## アットホーム博多の森

### 1. 運営実績報告

令和4年度も、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらの運営となりました。看取りなどによる退所者が依然多く入居案内に苦戦する1年となり、更に新型コロナウイルス感染症では、二度の大規模クラスターの発生によりご入居者様、ご家族様には苦痛かつご迷惑を掛けてしまいました。結果、特養・ショート共に稼働率回復に至らず、2年連続で目標を達成することができませんでした。デイサービスについては、僅かながらコロナ感染者が発生しましたが、特に稼働に影響なく運営できました。ただ、新規利用者の獲得に至らず稼働の低迷が続いています。

#### 【稼動率】

サービス区分	定員	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特別養護老人ホーム	99名	97.6%	96.6%	95.2%
ショートステイ	27名	75.2%	74.0%	78.8%
入居全体	126名	92.8%	91.8%	91.7%
デイサービス	18名	43.8%	48.2%	49.9%
居宅介護支援事業所（件数）		一	69件	389件

#### 【特別養護老人ホームの入居状況】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ入居者数	24名	33名	34名
延べ退居者数	24名	35名	34名
延べ入院日数	738日	836日	1,255日
平均介護度	3.51	3.43	3.52
割合	介護度1	4.3%	2.2%
	介護度2	8.7%	9.8%
	介護度3	32.9%	41.8%
	介護度4	40.5%	35.0%
	介護度5	13.6%	11.2%

### 2. 安全衛生管理状況

ここ数年、事故報告件数は低水準でしたが、転倒等・誤薬等の件数の微増、新型コロナウイルス感染クラスター発生等、一昨年度同様に課題が残り、更なる安全衛生管理の見直しを要す結果となりました。

#### 【行政への事故報告件数】

内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
転倒・転落・接触	3件	3件	6件
誤薬・誤嚥・異食	2件	5件	7件
打撲・皮膚剥離	1件	0件	0件
食中毒・感染症	0件	0件	25件
その他	0件	1件	3件
合計	6件	9件	41件

### 3. 職員研修

新型コロナウイルス感染症の施設内蔓延もあり、内・外部研修が十分ではない月もありましたが、概ね計画通り実施できました。

#### 【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	感染症（基礎編）	15名	10月	胃ろう・喀痰吸引	12名
5月	身体拘束／権利擁護	10名	11月	褥瘡防止研修	13名
6月	食中毒防止研修	14名	12月	感染対応（実践版） 身体拘束／権利擁護	16名 11名
7月	看取り	10名	1月	中止（コロナ蔓延により）	
8月	リスクマネジメント	16名	2月	高齢者虐待	8名
9月	高齢者虐待	13名	3月	リスクマネジメント	10名

※全職員対象資料配布

※高齢者虐待／身体拘束全職員対象、各部署会議にて伝達研修実施

### 4. 行事報告

新型コロナウイルス感染症により施設職員のみで行事を実施しました。

#### 【主な行事】

	行事名
春	花見弁当提供・施設敷地内桜花見
夏	中止・ソフトクリーム提供
秋	敬老会（職員と入居者）
冬	季節を感じる作品作り、おやつ提供・餅つき大会
通年	各フロア（おやつ作り等ミニレクリエーション）

### 5. 地域活動

令和4年度は、地域自治会役員のみでの町内一斉清掃、神社神事など一部行事は再開となっているも参加できていません。その他、当事業所主催の地域活動、月隈まごころサロン・買い物支援も中止としています。

地域広報委員による施設周辺清掃活動実施（1回／年）

## アットホーム諸岡

### 1. 運営実績報告

コロナ禍であっても安定した運営を行うため、付加価値のあるケア（科学的介護・誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト・ノーリフト）を推進し、介護の質の向上に努めました。また、稼働率の維持向上のため、離職率の低下・ノウハウ蓄積を目的とした「働きやすい職場環境づくり」にも取り組みました。また、施設内でコロナ感染が発生しましたが、感染対策の徹底により、感染拡大することなく、稼働率に影響を与えることはありませんでした。

#### 【稼働率】

サービス区分	定員	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特別養護老人ホーム	80名	98.4%	97.0%	95.7%
ショートステイ	10名	96.4%	87.5%	99.6%
入居全体	90名	98.2%	96.0%	96.1%
デイサービス	10名	76.8%	84.9%	86.9%

#### 【特別養護老人ホームの入居状況】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
延べ入居者数	12名	17名	24名	
延べ退居者数	13名	19名	21名	
延べ入院日数	398日	502日	744日	
平均介護度	3.89	3.92	3.88	
割合	介護度1 介護度2 介護度3 介護度4 介護度5	2.3% 5.2% 27.4% 32.0% 33.1%	0.4% 5.4% 27.1% 36.4% 30.7%	1.0% 6.1% 26.3% 37.5% 29.1%

### 2. 安全衛生管理状況

今年度は、安全対策委員会を月に1回実施し、事故事例の共有・検証・対策検討・実施・評価を行いました。安全対策委員が中心となり、リスクマネジメントの内部研修も年2回実施しました。これらの取り組みを通して、施設内全体に事故予防の意識継続と対策検討力の向上を図りました。その他については、筋断裂が1件ありました。

#### 【行政への事故報告件数】

内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
転倒・転落・接触	6件	1件	8件
誤薬・誤嚥・異食	21件	15件	10件
打撲・皮膚剥離	0件	0件	0件
食中毒・感染症	0件	1件	16件
その他	1件	2件	1件
合計	28件	19件	35件

### 3. 職員研修

内部研修を通して、職員の様々な事項に対する理解力や伝達力の向上、当事者意識をもった委員会活動への参加に繋げました。また、当日内部研修に参加できないスタッフに対しても、研修内容の共有・把握ができるよう、資料・データの回覧を実施しました。

さらに、外部研修に関しては、感染対策・対応・施設運営継続を最優先事項としながら、感染状況に応じオンライン形式、対面式で積極的に参加を行い、新たな知識習得・復習・共有に臨みました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	身体拘束・権利擁護 個人情報保護・ケアプラン	59名	10月	排泄ケア・褥瘡予防対策	60名
5月	①急変時対応 ②リーダー研修 ③感染対策	59名 11名 59名	11月	感染予防研修	61名
6月	科学的介護 (LIFEとは)	59名	12月	BCP(事業継続計画)	60名
7月	食中毒・感染予防	61名	1月	リスクマネジメント	59名
8月	リスクマネジメント	61名	2月	身体拘束・高齢者虐待予防(スピーチロック・ユマニチュード)	59名
9月	①身体拘束・高齢者虐待予防・ユマニチュード ②リーダー研修	60名 12名	3月	看取り	59名

### 4. 行事報告

外出・外食、飲食を伴う企画や、接触が増える企画、外部ボランティア・講師などを招いての企画が難しい中、イベント食の頻度を増やし、季節を感じられる食事提供を行いました。その他、オンラインを活用して音楽療法の実施、スタッフが講師となってフラワーアレンジメント教室の継続など、感染対策に留意しながら、利用者が楽しみの機会を継続できるように努めました。

【主な行事】※いずれも、感染対策に留意しながら3密を避けて実施。

	行事名
春	春の行事食(行楽弁当・焼き鳥丼)、こどもの日(イベント食)ココイチカレー(コラボ食)、吉野家牛丼(コラボ食)ドライブ、花見散歩、食事会
夏	七夕そうめん(夏祭りイベント食)、土用丑の日(うなぎひつまぶし風)、ユニット夏祭り、ビアガーデン(風)、野球観戦(ペイペイドーム)、ドライブ
秋	敬老会、誕生日会、ドライブ(花・景色見学)、おはぎ提供(彼岸)、運動会、コスモス・菊見学、紅葉見学、イベント食(おしるこ)、ドライブ
冬	クリスマス会、忘年会、新年祝賀挨拶、鏡開き(せんざい提供)、節分(ちらし寿司)、誕生日会、ココイチカレー(コラボ食)、吉野家親子丼(コラボ食)、ひな祭り(イベント食)、ドライブ
通年	フラワーアレンジメント(毎月2回再開) 音楽療法(月2回再開)

## 5. 地域活動

地域貢献活動に関しては、新型コロナウイルス感染症予防に伴い、一時休止している活動もありましたが、感染リスクが少ない一部の活動等については、感染対策を十分に行った上で再開しました。

- ・地域清掃 週1回 毎週火曜日 10時30分から実施。
- ・令和2年度より一時中止中 … 傾聴ボランティアうぐいす（1回／月）、地域ボランティア来設（1回／月）
- ・地域買い物支援（1回／月）※令和5年6月より再開予定
- ・外部講師派遣（認サポ・キッズサポートー講師活動）※令和4年12月より再開  
(活動実績：令和4年12月26日（月）「かふえ☆ざっしょ」地域住民12名参加)
- ・健康講話（1～2回／年）※自治会と相談の上、再開予定

## アットホーム福岡

### 1. 運営実績報告

サービスの質の向上を図るため、認知症対策・誤嚥性肺炎プロジェクト・業務の効率化について、施設全体で他職種協働に取り組みました。この取り組みは、介護報酬の新たな加算(LIFE)に繋がっているため、加算取得のための書類整備や役割分担の仕組み作りにも良い成果が得られました。

【稼動率】

サービス区分	定員	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特別養護老人ホーム	100名	95.1%	95.5%	96.0%
ショートステイ	18名	86.2%	96.1%	95.2%
入居全体	118名	93.7%	95.6%	95.9%
サービス付き高齢者向け住宅	35名	96.9%	96.2%	94.5%
居宅介護支援事業所(件数)		936件	1,018件	1,042件

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
延べ入居者数	42名	30名	22名
延べ退居者数	40名	27名	23名
延べ入院日数	1,257日	806日	953日
平均介護度	3.62	3.53	3.46
割合	介護度1	4.8%	4.4%
	介護度2	10.1%	11.9%
	介護度3	28.2%	33.2%
	介護度4	32.4%	27.4%
	介護度5	24.6%	23.1%
			16.6%

### 2. 安全衛生管理状況

職員の職場環境改善のため、休憩時間・場所・環境についての休息度アンケートを実施しました。コロナ禍のため密での休息ができない状況であり、十分な改善成果を得ることはできませんでしたが、この結果を基に質の高い安全衛生管理環境の改善に繋げました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
転倒・転落・接触	3件	4件	4件
誤薬・誤嚥・異食	2件	1件	3件
打撲・皮膚剥離	1件	0件	0件
食中毒・感染症	0件	0件	0件
その他	0件	1件	2件
合計	6件	6件	9件

### 3. 職員研修

サービスの質向上のため、人材育成を重要課題と捉え、研修形態を全体研修(運営基準等)、フォローアップ研修、介護力強化研修、新人研修の4つの分野に分類し、年間計画として実施しました。今年度は自立支援介護の取り組みでもある排せつと褥瘡ケアを介護力強化研修とし

て計画していましたが、コロナ禍であったことや人員配置上の問題もあり、参加率が低く目的達成には至りませんでした。この現状を受けて、10月より全体研修の開催方法をEラーニングでのオンライン動画研修へ切り替えを行いました。

#### 【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	ハラスメント・接遇研修	69名	10月	ターミナルケア研修	69名
5月	身体拘束廃止	69名	11月	褥瘡予防と褥瘡処置	68名
6月	認知症に関する研修	69名	12月	緊急時の対応	68名
7月	介護事故・ヒヤリハット	68名	1月	介護予防について	67名
8月	高齢者虐待防止	68名	2月	事故発生及び再発防止	67名
9月	感染症・食中毒の予防	70名	3月	認知症+倫理及び法令遵守	62名

※コロナ感染による研修中止時と不参加者には資料配布のみ行う

※9月よりオンライン動画研修へ切り替える

#### 4. 行事報告

各行事の実行委員を中心にコロナ禍でも開催できる方法を検討しました。各フロア単位での行事開催を基本とし、環境整備もフロア単位で準備し開催に至りました。夏祭り、もちつきという行事も代替案として、秋のふれあい祭りやハッピー初詣という行事に切り替え、入居者様も季節の時事行事を楽しんでいました。

#### 【主な行事】

	行事名
夏	野球観戦 夏だ、スイカだ、パーティーだ
秋	秋の大収穫祭 敬老祝賀会
冬	クリスマス会 福引大会
通年	ユニット行事 個人の願いごと叶え

#### 5. 地域貢献活動

令和4年度についても、継続して千代地区事業者ネットワーク連絡会の中で他事業所と協働のもと地域貢献活動を実施しました。2ヶ月に1回定例会を開催し、地域支援について協議しました。

令和4年度より、千代校区社会福祉協議会主催の「まちの保健室」の協力機関としての位置づけで、月1回で千代地区事業者ネットワーク連絡会として協働運営を行いました。

その他、10/6 千代小学校 4年生へ認知症キッズセンター養成講座実施、12/6 SMBCコンシユーマーファイナンス（株）様へ認知症センター養成講座を実施しました。

## けいあい保育園

### 1. 運営実績報告

今年度は、稼働率の向上及び保育内容の充実を目標として業務に取り組みました。稼働改善に向けて法人内グループとの連携を深めるとともに、各施設にパンフレットの設置などの協力を仰ぎました。引き続き今後もけいあい保育園のアピールに取り組みます。また、保育については報連相や保育理念の徹底した共有を行い、保育の質向上に取り組みました。職員一人ひとりが笑顔で保育に取り組めるよう健康面にも配慮を続けていきます。

#### 【稼動率】

サービス区分	定員	令和2年度	令和3年度	令和4年度
小規模保育園	19名	45.2%	83.8%	83.8%

### 2. 職員研修

保育の質を向上させるため、保育士の専門性を高めることを目的として研修を実施しました。日ごろから一人ひとりがより主体的に保育の質を高める意識を持てるよう、今後も啓発に取り組んでいきます。

#### 【主な研修】

	研修名	参加数
5月	健康・安全研修①	1名
6月	人権研修	1名
8月	救急講座	1名
	働きやすい職場環境	1名
9月	子どもの心に寄り添って研修	1名
	要保護児童、支援地域協議会	1名
11月	健康・安全研修②	1名
	保健・衛生・安全対策	1名
12月	保護者支援、子育て支援	1名
	人権保育研修③	1名

### 3. 行事報告

コロナ禍の状況ではありましたが、お別れ会については家族に向けた発表会でもあったため、窓を全開できる季節を選び、年齢ごと少人数で日時を分け実施。保護者に子どもの成長を見て戴くことができました。

#### 【主な行事】

	行事名
春	入園式・進級式 健康診断 鯉のぼりの会 母の日会
夏	歯科検診 プール開き 七夕会 園内夏祭り 食育会
秋	敬老の会 お別れ会（発表会） 秋の会 健康診断
冬	正月の会 豆まき ひな祭りの会 バレンタイン会 卒園式
通年	身体測定 避難訓練 誕生日会

## ケアスタ福岡

### 1. 運営実績報告

コロナ禍であっても適正な施設運営のため、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を重要課題と位置づけ、これまでの課題解決も合わせて職員全体で取り組みました。

デイサービス及び小規模多機能型居宅介護において、利用者・職員のコロナ感染があったものの、業務を停止することなく、利用者の支援を続けました。デイサービスはコロナ感染の影響により来年度は通常規模となる見込みです。グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅の次入居者が決まりず、稼働を大きく落とす結果となりました。小規模多機能型居宅介護では、登録者数27名を維持し、更なるサービスの向上に努めました。

【稼動率】

サービス区分	定員	令和2年度	令和3年度	令和4年度
デイサービス	45名	68.2%	66.1%	66.0%
グループホーム	18名	93.4%	87.2%	85.1%
小規模多機能型居宅介護	29名	93.1%	92.5%	94.3%
サービス付き高齢者向け住宅	11名	97.0%	94.2%	85.6%

### 2. 安全衛生管理状況

新型コロナウイルス感染症の予防を徹底するため、定時でのアルコール消毒及び換気等を行いました。またケアスタ福岡全体で、リスクマネジメント、感染・災害対策委員会にて感染予防の啓発を行い、衛生管理に努めました。事故件数は少しずつ減少しているものの、ヒヤリハット数が増えず、事故に対する認識を変えようと委員会で取り組んでいます。

その他の事故の内容は、グループホームにおいて、尿管カテーテル自己抜去がありました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
転倒・転落・接触	8件	11件	4件
誤薬・誤嚥・異食	42件	18件	10件
打撲・皮膚剥離	0件	4件	4件
食中毒・感染症	0件	0件	0件
その他	0件	2件	1件
合計	50件	35件	19件

### 3. 職員研修

ケアスタ福岡においては、各事業所合同にて委員会を行い、各事業所内会議にて資料を閲覧し研修としました。また、インターネットによる外部研修への参加も行いました。

【主な内部研修】

	研修名		研修名
4月	カスタマーハラスマントについて	10月	ハラスマント防止について
5月	権利擁護・身体拘束・高齢者虐待について (GH事例発表)	11月	権利擁護研修 (外部)
6月	食中毒について	12月	BCPについて (災害)
7月	実施なし	1月	運転セルフチェック
8月	スピーチロックアンケート実施	2月	利用者対応 (DS事例発表)
9月	実施なし	3月	コロナ感染対応振り返り

#### 4. 行事報告

コロナ禍にあっても、施設でのイベントや外出など、感染対策を行なながら実施しました。

##### 【主な行事】

	行事名
春	花見ドライブ
夏	外出企画（ショッピング） 山笠見学・そうめん流し
秋	敬老会はサービスごと開催
冬	節分・ひなまつり開催、初詣、忘年会
通年	小規模な誕生日会を実施

#### 5. 地域貢献活動

令和4年度においては、コロナ等の感染対策を行なながら、山笠への職員派遣、災害時の地域住民の受入など実施しました。

## 福岡介護福祉専門学校

### 1. 運営実績報告

今年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もありましたが、コロナ前の教育活動に戻しながら、全課程を修了することができました。また、本校の特徴でもある「介護現場との連動型教育」に取り組むことができ、優秀な介護人材の育成に繋げています。

学生募集活動については、留学生の入国制限対象学生の入学年度の影響もあり、留学生の新入生が減少しました。

#### 【学生募集活動の状況】

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
オープンキャンパス参加者数	117名	123名	42名
入学試験	受験者	71名	75名
	合格者	36名	41名
	入学辞退等	5名	2名
次年度入学者	31名	39名	28名
うち留学生	16名	27名	18名

#### 【令和4年度の学生数及び定員充足率等】

項目	全体(80名)	内訳	
		2年生(40名)	1年生(40名)
4月現在の学生数	68名	29名	39名
うち留学生	43名	16名	27名
定員充足率	85.0%	72.5%	97.5%
学生数に対する留学生の割合	63.2%	55.1%	69.2%
学生の動向	退学	2名	0名
	休学	0名	0名
	留年	0名	0名
	進級	37名	—
	卒業	29名	29名

### 2. 奨学会（奨学金制度）

今年度は、学生50名（うち1年20名、2年生30名）が認定されました。2年生については、令和5年4月に奨学会会員施設に就職し、債権譲渡契約を締結する予定としています。

令和3年度卒業生についても、各施設を2回訪問してフォローアップ面接を行い、退職者を出すことなく、全員就労を継続しています。今後も就職後のフォローアップを継続して行い、会員法人からの更なる信頼醸成と、奨学会加入に対する価値向上に努め、安定運営に繋げていきます。

#### 【奨学会奨学金貸与額（一人当たり）】

入学準備金	150,000円
月額	35,000円
奨学金合計（2年間）	990,000円

## 照葉けいあい保育園

### 1. 運営実績報告

本園の保育の願いは「子どもたちの健やかな成長を願い、一人一人のありのままの姿を尊重し、安心して失敗できる毎日を保証する」とし「子ども主体の保育」を目指し取り組むことができました。

#### 【園児数】

クラス	年齢	定員	4月時点	3月時点	定員充足率
たんぽぽ組	0歳	15名	12名	14名	93.3%
すみれ組	1歳	20名	26名	25名	125.0%
れんげ組	2歳	20名	26名	26名	130.0%
ゆり組	3歳	25名	24名	22名	88.0%
ひまわり組	4歳	25名	20名	20名	80.0%
さくら組	5歳	25名	6名	6名	24.0%
合計		130名	113名	113名	86.9%

### 2. 行事報告

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行いながらも、ある程度の行事を開催することができました。上棟式や節分など古来の行事を体験し保育に取り入れることで、衣食住への興味関心が芽生えるきっかけの一助となりました。

#### 【主な行事】

	行事名
春	懇談会、芋苗植え
夏	スイカ割り、お店屋さんごっこ、マリワールド探検、お月見会クッキング
秋	和出汁試食会、交通教室、クリスマス会、クッキング
冬	行事食、節分、ひな祭り、防災センター見学、クッキング、お別れ遠足
通年	ぞうきん縫い：裁縫、畑で野菜づくり、お誕生日のお祝い

### 3. 職員研修

開園1年目であったため、自園での職員研修は実施できませんでしたが、同法人内の保育園で実施された研修に参加することで「人権に配慮し子ども一人ひとりの人格を尊重する」という保育理念を職員全体に周知することができました。

#### 【主な施設内研修】

(主な研修) 県、市開催の研修会への参加

新職員採用研修・人権研修・マネジメント研修・衛生管理研修

リモート・ズームでの研修会（60回）

・大池けいあい保育園（8回）、愛宕けいあい保育園（2回）の研修に参加

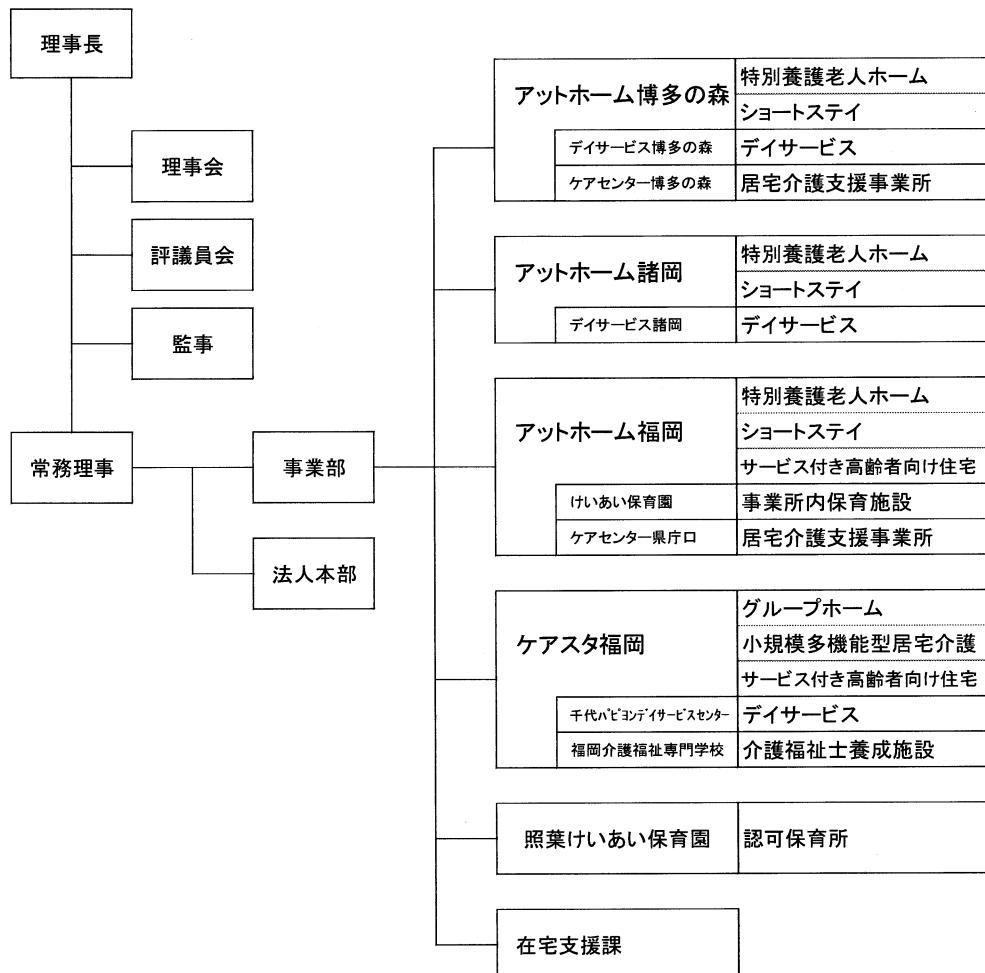
・園内研修

姫野講師「園内環境を活かしたクラスの環境構成について」

現場も見ながら子どもの動きや、保育士の立ち位置などの工夫。また、教材の配置や子どもの心の動き等の読み取る力などを踏まえたクラス毎のアドバイスを受け実践に結びつけることができました。

### III 組織図

令和5年3月31日現在



【サービス・定員数】

施設名	サービス・定員数（○印は定員なし）								
	特養	SS	DS	居宅支援	GH	小多機	サ高住	保育園	専門学校
アットホーム博多の森	99	27	18	○					
アットホーム諸岡	80	10	10						
アットホーム福岡	100	18		○			35	19	
ケアスタ福岡			45		18	29	11		80
照葉けいあい保育園								130	
定員合計	279	55	73		18	29	46	149	80

【職員数】

施設名	介護職員		看護職員		保育士		他の専門職		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
アットホーム博多の森	49	1	7	0			14	6	77
アットホーム諸岡	43	2	5	1			12	5	68
アットホーム福岡	48	4	5	1	8		14	8	88
ケアスタ福岡	30	6	5				9	5	55
照葉けいあい保育園					17	4	6	2	29
法人本部							6		6
合計	170	13	22	2	25	4	61	26	323

## 事業報告の附属明細書

令和4年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人敬愛園  
理事長 益田康弘